

学習決起集会で 決意新たに



予想される総選挙を前に、8日「日本共産党学習決起集会」が行われました。

燕市で行われたこの集会では、衆院比例北陸信越ブロック予定候補の藤野やすふみさんと、同たいらあやこさんがそろって決意を表明。「学術会議への人事介入では菅内閣を追い詰めつつある」(藤野氏)「柏崎市長選では近藤さんとともに原発ストップを訴え、市民に共感が広がっています」(たいら氏)と、総選挙勝利への意欲を語りました。

参加者からの発言では、「県内では各地で野党共闘が進んでおり、その中でブレない共産党の参加でブレない野党連合政権になる」ことが強調され、参加者全員で「次の選挙で政権交代を」と決意を固めました。

上越保健所管内感染症発生状況

(11月6日現在)

PCR検査実施件数 2,632件

(システム変更により件数集計方法変更)

感染症患者数 14人(上越市内13人)

陽性率 0.53%

上記の他に11月8日に感染者1名

「地域の拠点なくさないで」地域から たくさんの方の切実な声

市議会主催 議会報告会・意見交換会

9月議会での審議の報告を主な内容とした議会主催の「議会報告会・意見交換会」が、市内4カ所で行われました。

清里(6日)、直江津(8日)、吉川(9日)、三和(11日)の4カ所です。



このうち吉川コミュニティプラザで行われた議会報告会・意見交換会には、日本共産党議員団の3人がそれぞれの役割でそろって参加しました。

この会場には、吉川区の市民約20人が参加し、鳥獣被害対策や公の施設の再配置問題などについて、地域からの切実な声が続々と出されました。

「市内の780kmにおよぶ電気柵の大半は柿崎と吉川だ。このままイノシシが増えたいへんなことになる。対策はないのか」「鳥獣被害の背景には森林の荒廃がある。里山整備を是非進めてほしい」「公の施設の再配置で公民館の分館がなくなろうとしている。地域の拠点がなくなり地域活動ができなくなつて、つながりが切れてしまう」「公民館の分館は避難所にもなっている。各議員はどう認識しているのか」「県立柿崎病院の問題では他市に比べて上越の議員の動きが鈍い。命を守る病院であり、赤字だからという問題ではない。どのような認識か」など、いずれも切羽詰まった問題です。

議会でもこれから本格的な議論になるものばかりです。当議員団としても、みなさんの声を真正面から受け止めて論戦に臨んでまいります。



上越バスロケーションシステム運用を開始

市内の公共交通を改善しようと、市では列車、バス、タクシーなど、各種の公共交通機関の運行改善に向けていろいろな取組を行っています。

その一つとして、今月1日から「上越市バスロケーションシステム」の運用が開始されました。

このシステムは、スマートフォンまたはパソコンからウェブサイトに接続することで、バスの位置情報やバス停ごとのバス時刻等の運行状況を確認できるといふシステムで、当面、上越大通り線、教育大学線、富岡線で運用されることになっています。

自分が乗ろうとしているバスが、いったいどの辺を走っているのかがリアルタイムでわかるのは、たいへん便利なことです。

しかし、スマホ利用者はほとんどの場合マイカー利用者です。そこで、各バス停にバスの位置が表示されるディスプレイを設置することなど、バスの位置確認はスマホがなくてもわかるようにしてはどうかとの指摘もあり、まだ改善の余地があります。今後の取組を注視していきます。

日本共産党上越市議員団ニュース
No.682 2020年11月15日

連 橋爪 法一 090-5392-1961 (吉川区代石)
絡 上野 公悦 090-7260-9407 (頸城区中柳町)
先 平良木 哲也 090-1808-6919 (上中田(金谷区))

日本共産党議員団市政報告・意見交換会
～12月議会に向けてみなさんのご意見を伺います～
11/20(金) 18:30～20:00 直江津学びの交流館 多目的ホールA

来年度への予算要望を
みなさんの率直な声を反映させた要望を作成中です。ぜひあなたの声をお寄せください。
(左記連絡先へお気軽にどうぞ)